

照屋海人（所研究室）

この度は、環境資源工学会の奨学金という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。ご支援くださった先輩方に厚く御礼申し上げます。

現在、私は車載リチウムイオン電池正極材の新しいリサイクル技術に関する研究をしています。電気自動車（EV）に搭載されている車載リチウムイオン電池は、近年のEVの普及に伴い、将来的な廃棄量の増大が予測されています。特に正極材は、資源戦略上重要な元素であるコバルトが用いられ、高効率な分離回収が求められています。従来のプロセスでは、薬品や熱を使って回収されていますが、より環境負荷を低減する手法が求められています。私の研究では、廃棄されたリチウムイオン電池の正極材に高電圧を印加することで、瞬時に分離する方法を開発しています。

来年度は、早稲田大学大学院の創造理工学研究科修士課程に進学します。恵まれた環境で研究できることに感謝し、更に研究を進めていきたいと思っています。資源に関する社会課題を工学の観点から解決するために、一層勉学に励んでまいります。